

■ 農山漁村生活体験(民家スティ)の理念 ■

「心豊かな田舎暮らし」の体験が感動を生み人間として成長するきっかけになります。

- ▶ 広島湾域を中心とする瀬戸内海の島々や中国山地の里山には、澄み切った空があり、山や森から海に続く**豊かな自然**があります。
- ▶ そして、隣近所との信頼関係、家族の絆、人間関係が希薄な時代に日本人が忘れかけていた「**心豊かな田舎暮らし**」があります。
- ▶ そうした田舎に滞在し、家の周りで採れた新鮮な野菜や山菜、あるいは川や海の魚などの自然食材でつくる田舎料理を学ぶことで、命の源の食生活を担う農山漁村の暮らしと役割を深く理解し、集落という助け合いのコミュニティに触れ、作業を手伝い、**生活が全く異なる体験をすることでコミュニケーションが生まれ、家族の団欒を味わい、地域の人々の生き様に接することで、自らの生き方を省みる機会**となります。
- ▶ お客様としてではなく**家族の一員として迎える**ことで、親子や家族という当たり前にあるべき**人と人との関係の大切さを確認し、心に刻まれ、これからの人生に大きな影響を与える巡り合い**となります。

■ 教育効果 ■

人間関係構築の能力を養う

受入家庭の家族と共に暮らし、共通の体験をすることにより、コミュニケーションと交流が深まり、人間関係を構築する機会となります。家族の一員としての気遣いが家庭や心の絆を理解し、団欒の心地よさ温かさを理解することにつながります。

仕事の意味や意義を学ぶ

労働、仕事、手伝いを通して生きるためのいとわぬ労苦の大切さや、面倒や大変であることが仕事であることを学び、人の役に立つということのやり甲斐、生き甲斐、充実感、達成感を体験します。

産業や食生産現場の重要性の理解

農山漁村での仕事を通して、過疎化、高齢化、後継者不足などによる農業経営や農山漁村の現状を理解するとともに、食料生産の役割と誇りを学び、未来につながる日本の農山漁村のあるべき姿を考える機会となります。

命の教育

山、森、田畑、川、海まで続く自然を体験し、土に触れ、生き物と関わり、生命の命を戴く(食べる)ことにより、命の大切さを学びます。

食育

共同調理をすることにより、作物の作り方、捕り方、調理の仕方、食べ方を学ぶとともに、食文化が肉食欧米化している中で、生産と直結した食や田舎料理を経験し、健全な食生活や和食の価値を学ぶ場となります。

社会性の醸成

田舎の歴史文化やコミュニティ、地域の慣習に触れ、生活規範を学び、高齢者の知恵と技を知って高齢者への尊敬の念が生まれ、異世代交流に理解と自信を持つことにより、社会性を身につけます。